

理科	科目名	生物基礎	担当者	比嘉由紀乃
履修学科	情報技術科、インテリア科、デザイン科、調理科			
履修学年	第 1・2 学年	履修単位	2 単位	
概要及び目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			
評価基準及び方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「関心・意欲・態度」「思考・判断」「観察・実験の技能・表現」「知識・理解」の4つの観点に基づき評価する。 ・ペーパーテスト7割、提出物（プリントファイル及びノート）2割、その他1割（出席状況、受け答え、授業態度）。 			
使用教科書及び教材	第一学習社 「高等学校 新生物基礎」 授業に合わせて作成した 「プリント」			
その他留意点	進学希望者に対しては参考書、進学先の傾向問題、進路の講座等個別に指導を行う。			

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	・生物にみられる 多様性と共通性	・細胞構造の共通性と多様性 ・真核生物の構造	
5	・細胞とエネルギー	・代謝とエネルギー ・光合成 ・呼吸 ・ミトコンドリアと葉緑体の光合成	中間考査
6	・遺伝子とDNA	・遺伝子・染色体・DNA ・DNAの構造 ・DNAの複製と分配	
7	・遺伝子の働き	・遺伝子の発現 ・生体内のタンパク質	期末考査
8			
9	・生物の体内環境	・体液とその働き ・体液の循環 ・体液の濃度調節 ・肝臓の働き	
10	・体内環境を維持するしくみ	・自律神経系の働き ・血糖量の調節 ・ホルモンによる体内環境の維持	中間考査
11	・生体防御	・体液性免疫 ・細胞性免疫	
12	・植生と遷移	・植物と環境 ・植生の遷移	期末考査
1	・気候とバイオーム	・世界のバイオーム ・日本のバイオーム	
2	・生態系と物質循環	・生態系の物質循環とエネルギーの流れ	
3	・生態系のバランスと保全	・人間活動と生態系 ・生態系の保全	学年末考査